

令和6年市長と語る！ふれあいミーティング

会場：加治地区行政センター

日時：令和6年5月21日（火）午後7時～

《会場での主なご意見等》

【ご意見①】

私は市内の障害者団体の役員をやっている。

会では、2019年以前の15年間毎年、埼玉県の福祉バスを利用して伊豆にある埼玉県の保養所に行っていた。コロナ禍で中止になっていたがここで復活させた。

今までバスの乗り降り、参加者の自家用車の駐車など市役所を使用させていただいていたが、今回、貸し出せないとの回答であった。利用する福祉バスは車いすのリフトもあり、車体も大きく、駐車する場所も限られているため、従来市役所の入口のところに駐車させていただいていた。

借りられずこれは困るということで、障害福祉課に相談し、飯能市市民会館の駐車場とトイレを貸していただくことになった。

来年は、市役所駐車場を使用させていただきたい。

【回答】

どのような理由で使用できないとしたのか、確認させていただきたいと思います。

【ご意見②】

たすけあい活動を実施している市内の団体が、相互に協力し合う、または補完し合う体制ができないか検討していただきたい。

たすけあい加治は、飯能市社会福祉協議会、地元事業者のお力をいただいて今年で発足4年目になる。事業が持続可能な団体として今後も継続していくために団体相互の協力、補完が非常に大切になってくる。

毎年、年度当初に事業計画を市の方に提出している。その内容について、各団体が共有し合えば、お互いに助け合う、補完し合えることができる。例えば、私どもでは、送迎の業務を行っているが、以前、送迎研修、交通安全の研修を実施していた。そのこともお互いに補完し合えばいいと思う。その辺の連絡体制を是非、検討していただき、お互いに協力ができるような体制をつくっていただけるように検討してほしい。

【回答】

それぞれの団体様のお考えもあるかと思いますが、今、おっしゃられたことは重要なことだと思います。いずれにしましても、貴重なご意見ですので、対応できるように取り組んでいきたいと思っています。

【ご意見③】

加治地区行政センターについて、耐震診断調査を実施することだが、建て直してエレベーターを設置してもらいたい。

【回答】

まずは、今年、耐震診断を実施させていただき、その結果を基に色々な方向で検討させていただきますのでご了解いただければと思います。耐震がダメという結論が出た場合には、その建物をどうするのか、建替えるのか、補強でいいのか、補強する場合に補強だけでいいのか、バリアフリー、エレベーターを設置しなければいけないのか、そういったことが出てくると思います。

勿論、今の時代ですと、このような公の施設ですと2階建ての建物にはエレベーターがあるのは普通ですので、加治東地区行政センターも設置させていただきました。これから行う第二区地区行政センターについても、バリアフリーということでエレベーターを設置する予定です。耐震と改修が必要ということであれば、当然、エレベーターも設置することになると思います。ただ、それが新築になるのか改修になるのか、これは話が別ですが、これからの建物はバリアフリーでないと使い勝手がよくありませんので、その辺は十分考慮させていただきます。

【ご意見④】

広報はんのうについて、戸別配布の検討を要望する。うちの自治会は、ブロック長さんに一番多いところでは広報紙が100冊送られてきて、それを班ごとに分けて各戸に配布するというので、特に高齢化が進んでいる中、区長さんもその活動が辛いということ。自治会を脱会する方も結構いる。せめて班長さんのところまで配布していただきたい。

【回答】

自治会への負担軽減につきまして、検討は必要であると思います。戸別配布は難しいと思いますが、デジタル広報、インターネットで発信する方法等もございます。このことは時間を必要としますが、総合的に検討をさせていただきたいと思います。

【ご意見⑤】

自治会長をしている。自治会活動をやる中で、地域に住んでいる方が安心して、楽しく、豊かに暮らせればいいと思い、自治会活動をしている。ご高齢の方は余生を、いかに安心して楽しく過ごしていただきたい。これから成長していく子どもたちには、地域で色々な豊かな経験をして、健やかに育て欲しい。よくよくは、この地域を支える人材に育て欲しいと願い、今、活動している。

そのような意味を込めて、自治会と子ども会の間で、一緒に何か活動をしようと声かけをして、今まで自治会と子ども会が連携し、ラジオ体操を行ってきたが、今年度、子ども会の会長から、ラジオ体操には協力できないとの話があった。保護者が忙しい、参加した子と参加しない子でいさかいがあるなどが理由であった。納涼大会にも協力できない、地域の事業に協力できないと言われた。そのようなことがあって考えたのは、子育て家庭が物凄く疲弊している。地域の行事にも参加できなくなってしまっているのだと私自身考えた。

自治会でも色々な子育て世代の支援を考えたいと思っているが、市の方でも是非、子育て世代が疲弊していることを年頭に置いて、色々な施策を考えていただきたい。

加治中学校では、不登校の子どもたちのサポートルームを開いており、民生委員や自治会の役員がボランティアなどで関わっている。来る子どもたちと一緒に話をしたり、応援したりしているが、難しい中学校の勉強は教えられない。

飯能第一中学校では専門の支援員がいるという話を聞いている。多少なりとも中学校の教育内容を教えられる方をサポート支援員として置いていただくことはできないのか。勿論、我々はその現場に居て、これからも支援し続ける気持ちはある。

【回答】

加治中学校では、民生委員、ボランティアの方にご協力いただき、昨年度から今、課題となっている不登校生徒の対応をしていただき本当にありがとうございます。

加治東地区行政センターでもそのようなご意見が出ました。来年に向けて、校長先生と実態をよく話し合いまして、適切な配置ができればいいと思います。前向きに考えたいと思っておりますのでご理解願えればと思います。

自治会と子ども会とのラジオ体操の件につきましては、もう一度、地元の方でお話し合いをしていただければ助かります。

【ご意見⑥】

私は車を一日運転していて、しばらく、手を挙げて横断歩道を渡る姿をほとんど見かけない。横断歩道を手を挙げて歩くということが少なくなっている。

飯能警察署と市が連携して、指導していただき、皆さんが運転していて、一日、2、3人手を挙げているのを、最近は見るということになっていくと、事故も減って、お互いが不幸にならずに済むと思う。目に見えて改善がなされるようお願いしたい。

【回答】

交通ルールを守るということは基本中の基本です。飯能警察署を含め、交通安全協会には機会あるごとに私の方から申し入れをしております。

引き続き、指導の徹底ということで取り組んでまいります。

【ご意見⑦】

ふれあいサロン笠縫の会長をしている。コロナ禍前まで、地区行政センターと共催という形で市のマイクロバスを使用して近隣の博物館や寺社や商店街などに出かけていた。通常は午前中の1時間半ほどがサロンの場であったが、お出かけする時は半日をかけてお昼も外で食べるような形で大変好評で喜んでいただいていた。

しかし、現在マイクロバスがなくなり、お出かけをする機会がなくなってしまった。私たちが運転して皆さんを連れていくことは難しく、マイクロバスの復活ということはないのか。是非、マイクロバスを復活させていただき、またお出かけする機会をつくれればと思う。

【回答】

取りやめた経緯につきましては、今ここでは分かりませんが、確認させていただき、後日報告させていただきます。

なかなか難しいこととは思いますが。行政の方でどこまでできるのか、その辺につきましては検討させていただければと思います。